

やすらぎ

第28号

特養住民／野中 ツナ 筆

念願かなって、祝・百賀!



表紙の写真

去る5月19日、盛島チエノさんが百歳の誕生日を元気に迎えられました。今年の元旦に特養住民を代表し、手づくりのだるまに健康と長寿を念願して目を入れたチエノさん。見事に念願成就となりました。（詳細は次ページに掲載）

できるところを無理なく～機能訓練の取り組み～ その2



「調子はどうですか？」

昨年四月、沢内病院にリハビリが開設され、理学療法士の先生が着任されました。今まで当施設では、霰石より理学療法士の先生を招いてリハビリの指導を受けていましたが、年に三、四回のためなかなかリハビリの向上・定着には難しいものがありました。そのため、沢内病院でのリハビリ開設は、ぶなの園にとっても喜ばしいことでした。沢内病院の理学療法士の先生には、お忙しい中にも関わらず、当施設に週一回指導に来て下さいます。ここ半年ほど、ぶなの園でリハビリ指導に携わっていただき、病院と施設でのリハビリではいろいろ異なる部分があったり、またリハビリについて、私たち職員とは別の視点があるかと思えます。そこで今回は、そのようなところも含めて先生からのご感想等をおよそいただきましたので、ご紹介いたします。

機能訓練指導員 清水 直子

リハビリ応援、半年を振り返って

沢内病院に就職して早一年、同時に、ぶなの園でのリハビリに関わり始めてから約半年が経ちました。開始当時は、右も左もわからない状況で不安もありましたが、周りの方々のご協力やアドバイスをいただきながら、どうにかこうにかやってこれたと言うのが正直な気持ちです。ぶなの園と関わらせていただく中で、今でも病院と特別養護老人ホーム（以下、特養ホーム）のリハビリの関わり方の違いに戸惑うことがあります。「生活の場」としての特養ホームで、リハビリがどの程度介入すれば良いのか、機能的に「プラトール（回復限界）」を迎えた方に対し、何を目標にして関わっていったら良いかなど、まだまだ疑問だらけというのが正直なところですが、病院でやっていることをそのまま持ち込んで、通用しないという点も痛感させられます。ただ、今自分なりに思うことは、例えば家族が面会に来たときに「うちのばあちゃん、前よりも何だか元気になったようだ。」と感じてもらえることが一番良い目標なのではないか、ということだと思います。そのための一つの手



「よいっしょ…、立ち上がってみましょうか？」

段として、リハビリがあるということ、そこで自分の専門性を発揮できれば、という意識を取り組んでいます。現在は、毎週水曜日の午後一時間半ほどお邪魔し、リハビリ担当職員の方と意見交換をしたり、リハビリを行ったりする時間を設けています。動ける方にはその機能や意欲を維持し、動けない方には少しでも「動く」という気持ちになれるような環境（身体的、環境的、心理的）をつくるためのちょっとしたお手伝いができれば、と思っています。

まだまだ取り組みとしてはこれからだと思いますし、どのようなかかわり方がベストなのか、試行錯誤している段階ですが、いろいろな方々の意見やアドバイスをいただきながら、自分ができることを精一杯できれば、と思っています。今後ともよろしくお願ひします。

沢内病院理学療法士

松岡 陽介さん



娘さんご夫婦とチエノさん

すこやかにめでたや百歳

盛島チエノさん誕生日を祝う

去る五月十九日。沢内村でも待ちに待った桜の季節が駆け足で過ぎ、まるで初夏の陽気を感じさせられるようになった、この日。ぶなの園では、ひととき暖かな祝賀ムードに包まれていました。



踊りを披露してくださった「幸の会」の皆様と

盛島チエノさんが、めでたく百歳のお誕生日を迎えられたのです。（ぶなの園開設以来、初の記念すべき百歳の方の誕生です）明治三十八年、新町で九人姉弟の長女として生まれ、十八歳の頃に結婚。鉾山の仕事をしていたご主人を主婦業をしながら支え、ご主人が定年になるまで鉾山で生活をされてきました。その後、新町へ戻られ、娘さんご夫婦が商店を経営されたのをきっかけに、そのお手伝いをし、過ぎておられたそうです。

「新聞を見るのが好きで、何事にも動じず、くよくよしない性格でした。」（甥の為田収一さん談）

ぶなの園での普段の生活は、自ら話されることは少ないのですが、周囲からの問いかけにはしっかりとご返答され、食事もご自分のペースでゆつくりと食べられております。

そして、この晴れの日には、高橋繁村長が来園され、村からのお祝が贈呈されました。着物を着て、お化粧をされたチエノさんは、さすが百歳!!と思われ

るような凛とした表情で受けとられておりました。

その後の誕生日祝賀会では、施設からの記念品（普段の様子をまとめたアルバム）を贈呈させていただきました。また、特養の住民を代表して亀井サメさんから「これからも共に元気に暮らしていきたいと思います。」とお祝の言葉がありました。そして、祝賀会のメインイベントであります、北上の「幸の会」の皆様による踊りの披露。最前列で娘さんとご鑑賞されているチエノさんの表情は、いつにも増して目をパチリと開き、次々と目の前で繰り広げられる舞いをして、しっかりと堪能されている様子でした。最後の「百歳音頭」では住民・職員が一緒になって踊りの輪になり、終始チエノさんの誕生祝いに盛り上がり、涙その素晴らしさに感動して、涙する住民の姿も見られました。

チエノさんご本人も、次々に来るお祝いの声に「はい！」と力強く答えられ、長寿の貫禄が伺われました。ご家族からは「先日の帰省時には、家族勢揃いで

一緒にお祝いをする事ができました。皆さんに感謝するとともに、このチエノばあさんにあやかって、元気で長生きしてください。ありがとうございます。」とお言葉をいただきました。

祝福の雰囲気一色に染まった一日。あらためて、おめでとうございました!!

介護職員 田中 真起子

特別養護老人ホーム ぶなの園
新しい住民ご紹介

平成十七年三月～五月



4月入居
【分 沢】
高橋 カチヨさん (88歳)



4月入居
【長瀬野】
高橋 ヤスさん (98歳)



4月入居
【貝 沢】
福田 タマさん (85歳)



4月入居
【新 町】
菅原 ツエさん (78歳)



5月入居
【長瀬野】
照井 覚治さん (87歳)

よろしくお願ひします。
(年齢は五月末現在)

通院等乗降介助が 変わります



介護保険制度が平成十二年よりスタートしましたが、当時より通院介助のサービスがホームヘルプサービスで実施してきたところでありました。

制度開始から二年後の平成十四年頃から、旅客輸送業者（タクシー）より輸送業の部分でその行為に違反するのではないかと、その当時の村との話し合いで、介助を要する方について幹線バスやタクシーの利用だけでは、通院もままならないことから、止むを得ない理由ということで、乗車及び降車の際に介助を要する方という前提の下に、引き続き利用していただくことで話し合いをしていただきました。

それが、平成十五年度からの単価改正において、通院乗降介助等のサービスに対して、新たに介護報酬が設けられました。このことに関連して、ホームヘルパーが行なう通院等乗降介助は、道路運送法に基づく許可を得なければならぬことになりました。通院等乗降介助の内容については、以下にお示しさせていただきます。利用される方の立場から見れば、今までとほとんど変わりなくお

考えただいてよろしいかと思われまます。利用が可能となる方は、介護保険における要介護認定区分のうち、要介護1～5の認定を受けられている方に限られます。（自立及び要支援とされておられる方については、通院等乗降介助は利用できないこととなっております。）

尚、詳しい内容については、担当のケアマネージャーにご相談ください。

施設長 高橋 一雄

通院等乗降介助の内容

- ・外出の準備
（着替えや整容、持ち物の確認）
- ・車両までの移動の介助
（歩行及び車椅子での介助）
- ・乗車及び降車の際の介助
- ・病院内での移動の介助
（歩行及び車椅子での介助）
- ・受診における介助
（診療の受付など）

やすらぎ会の動き

～平成十七年度人事異動～
今年度、新たに三名の職員が仲間入りしました。また、異動や退職の方もおりましたので、ご紹介させていただきます。

《新任職員》

ぶなの園



介護職員
内記 温美



介護職員
猿橋 香苗



介護職員
高橋 愛子

こえ

地域の方から



泉沢 田中 清子さん

今回は、泉沢の田中清子さんに「こえ」を寄せていただきました。老人クラブや人生楽園などの活動に参加される一方、やすらぎ会の行事にも足を運んで、特養住民の方々と笑顔でふれあっていたいております。ご自身の身体と上手におつき合いしながらも、積極的に活動されている方からの「こえ」を、今回はご紹介させていただきます。

社会福祉法人やすらぎ会広報委員の方から、地域の声として書いて欲しいと依頼されましたが、福祉とは？介護とは？と考えても、今対象の年代（八十五才）となつていると、要求したり批判したりするよりも、私がそうした立場になるまで、どうぞ何時までもその施策が続けられるようお願いいたします。介護とは辞典を開いて見ると、

介抱や看護することある。介抱とは病人や怪我の手当をすることとある。単なる生活の手伝いをするだけでなく、自立のためのサポートを行なうのが介護サービスの本当の姿ではないでしょうか。新聞を見ても週刊誌を見ても、福祉という字が溢れています。私達村の行政では、そしてやすらぎ会ではどのように取り組んで居られるのか分りませんので、さわうちの医療と福祉のまとの印刷物を、ひっぱり出して読みましたが、猫に小判の如く専門用語が多くて理解に苦しみました。

人生最後の終着駅として施設を選ぶ前に、生きる喜びを見つけ、目標をもつことこそ最善のリハビリだと思えます。朝起きて、今日は何時もより脚が痛むと思っても、塗り薬をたっぷり塗り、湿布を貼り、やつこらさ腰を上げ戸外に出て除草をすると、脚の痛みも忘れ此処にはどんな花の苗を植えようか考え土の中から出てきたみみずにごめんよ、せつかく眠っていたのかいと、声をかけてる自分にかいまします。

認知症はだれにも発症の可能性がある病気だと言われていますが、無事此の峠を越えられるよう祈っています。

沢内村の先陣を切り、今年の夏まつりもぶなの園から始まります

第7回 やすらぎ会夏まつり 開催のお知らせ

- 開催日時：平成17年7月30日（土）
17:00～19:00
- 内容：ステージ発表、模擬店、さんさ踊り、大抽選会



よろしくお願ひします。

《退職》

◆特別養護老人ホーム
照井 恭子 介護職員
ぶなの園

ご苦労様でした。



《異動》（カッコ内は前任職）

◆特別養護老人ホーム
泉川美智子 看護職員
（在宅介護支援センター）
深沢 恵子 看護職員
（デイサービスセンター）かたくりの園

◆デイサービスセンター
ぶなの園
高橋千恵子 看護職員
（特別養護老人ホーム）ぶなの園

◆デイサービスセンター
かたくりの園
村上 俊子 看護職員
（特別養護老人ホーム）ぶなの園

財産目録

平成17年3月31日 現在

第6号様式

資産・負債の内容	金額
I 資産の部	
1、流動資産	
現金預金	133,198,940
現小口現金	
信金預金	1,377
普通預金	132,944,661
北上信用金庫 西和賀支店 0160626	
西和賀農業協同組合 沢内支所 2436704	
西和賀農業協同組合 沢内支所 2471194	
西和賀農業協同組合 沢内支所 2478857	
西和賀農業協同組合 沢内支所 2478873	
西和賀農業協同組合 沢内支所 2478881	
西和賀農業協同組合 沢内支所 2478814	
西和賀農業協同組合 沢内支所 2436691	139,349
西和賀農業協同組合 沢内支所 2797278	113,553
定期預金	
積立預金	
未収金	92,083,169
未収金	92,083,169
3月分介護報酬請求額及び委託料	
流動資産合計	225,282,109
2、固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産特定預金	3,000,000
西和賀農業協同組合 沢内支所	
基本財産合計	3,000,000
(2) その他の固定資産	
建物	1,176,027
車両運搬具	3,222,759
車輛 No. 56-22 No.45-77等	
器具及び備品	2,894,877
積立預金	42,088,546
移行時特別積立預金	12,088,546
西和賀農業協同組合 沢内支所	
その他の積立預金	30,000,000
西和賀農業協同組合 沢内支所	
その他の固定資産	12,427,843
県共済預け金	12,206,030
岩手県退職共済掛金累計額資産計上	
その他の固定資産	221,813
パソコンソフト	
その他の固定資産合計	61,810,052
固定資産合計	64,810,052
資産合計	290,092,161
II 負債の部	
1、流動負債	
未払金	21,197,779
未払金	21,197,779
3月支払い分	
預り金	22,958,907
2月分社会保険料及び介護報酬	
流動負債合計	44,156,686
2、固定負債	
退職給与引当金	12,206,030
岩手県退職共済掛金累計額資産計上	
固定負債合計	12,206,030
負債合計	56,362,716
差引純資産	233,729,445

貸借対照表

平成17年3月31日 現在

第5号様式

一般会計

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	225,282,109	216,739,791	8,542,318	流動負債	44,156,686	52,213,022	△8,056,336
現金預金	133,198,940	133,187,428	11,512	短期運営資金借入金			
有価証券				未払金	21,197,779	31,451,274	△10,253,495
未収金	92,083,169	83,552,363	8,530,806	預り金	22,958,907	20,761,748	2,197,159
貯蔵金				前受金			
立替金				借入金			
前払金				賞与引当金			
短期貸付金				その他の流動負債			
仮払金							
その他の流動資産							
固定資産	64,810,052	59,631,178	5,178,874	固定負債	12,206,030	24,509,630	△12,303,600
固定資産(基本財産)	3,000,000	3,000,000		長期設備資金借入金			
建物				長期運営資金借入金		15,000,000	△15,000,000
土地				長期預り金			
基本財産特定預金	3,000,000	3,000,000		退職給与引当金	12,206,030	9,509,630	2,696,400
				賞与引当金			
				その他の固定負債			
固定資産(その他の固定資産)	61,810,052	56,631,178	5,178,874	負債の合計	56,362,716	76,722,652	△20,359,936
建物	1,176,027	862,565	313,462	純資産の部			
構築物				基本金	23,000,000	23,000,000	
機械及び装置				基本金	23,000,000	23,000,000	
車両運搬具	3,222,759	512,075	2,710,684	国庫補助金等特別積立金	1,365,625		1,365,625
器具及び備品	2,894,877	3,263,299	△368,422	国庫補助金等特別積立金	1,365,625		1,365,625
土地				その他の積立金	44,610,760	44,610,760	
建設仮勘定				移行時特別積立金	14,610,760	14,610,760	
権利				その他の積立金	30,000,000	30,000,000	
投資有価証券				次期繰越活動収支差額	164,753,060	132,037,557	32,715,503
長期貸付金				次期繰越活動収支差額	164,753,060	132,037,557	32,715,503
公益事業会計元入金				(うち当期活動収支差額)	32,715,503	33,119,883	△404,380
収益事業会計元入金							
措置施設繰越特定預金							
積立預金	42,088,546	42,088,546		純資産の部合計	233,729,445	199,648,317	34,081,128
その他の固定資産	12,427,843	9,904,693	2,523,150	負債及び純資産の部合計	290,092,161	276,370,969	13,721,192
資産の部合計	290,092,161	276,370,969	13,721,192				

脚注

減価償却の累計額 7,895,849円

善意

平成17年6月～8月

ありがとうございました
感謝申し上げます

【ご寄付】

・井口 文子様 ・北島 勇一様

【ご寄贈】

・沢内村婦人連絡協議会様
・新町郵便局様
・大久保 英明様
・高橋 ミヨノ様

【ボランティア等】

・どれみの会様 (洗濯たたみ等)
・長瀬野婦人会様 (ホーム喫茶)
・泉沢婦人会様 (ホーム喫茶)
・桜井 英美様 (住民介助)
・深澤 久一様 (畑作業手伝い)



- 特別養護老人ホームぶなの園
- デイサービスセンターぶなの園
- 沢内村在宅介護支援センター
- ホームヘルプステーションぶなの園
- 西和賀介護相談室

沢内村大字太田第2地割135番地
電話 0197-85-2322

- 沢内村高齢者生活福祉センター
かたくりの園

沢内村大字大野第17地割140番地1
電話 0197-85-3388



編集後記

今年の夏は天候に恵まれ、田んぼの稲もすくすくと育ち、黄金色になって「そろそろ刈ってください。」とおじぎをしてくれました。

各地では、地震や台風の被害があり、大変な事態になっている地域があります。しかし沢内村は、すばらしい自然環境に恵まれているおかげか、それほど災害にあうことなく、収穫の秋を迎えています。あと少しで合併することになりますが、沢内の自然を大切に、子供からお年寄りまで安らげる西和賀町であってほしいですね。

やすらぎ

第29号 平成17年9月25日発行

社会福祉法人やすらぎ会
広報委員会

高橋 宏明 高橋 直美
上中屋敷陽子 佐々木菜穂子
高橋 浩子

ホーム喫茶のご案内

開店日 10月21日(金)
11月18日(金)
12月16日(金)

ご利用時間 14:00～16:30

場所 ぶなの園 地域交流の場

お待ちしております!

ぶなの園 待機者情報 (平成17年9月15日現在)

①出身地別状況

沢内村 (26名)	秋田県 (2名)
湯田町 (5名)	東京都 (1名)
北上市 (4名)	

②介護度別状況

要介護1 (6名)	要介護4 (9名)
要介護2 (7名)	要介護5 (9名)
要介護3 (7名)	

合計38名

※入所を希望される方は、担当のケアマネージャ及び、ぶなの園までご連絡下さい。

在宅介護のお悩みは

在宅介護支援センター

【電話番号】

にご相談ください。

0120-85-2319 (支援センター直通)
85-2322 (土・日・祝日、夜間対応)

お気軽にどうぞ!

